

You Tube
録画中継は
こちらから

竹　島　直　樹
（柊の会）

旧金崎団地の跡地活用を

今年度末までに利活用の考え方をまとめる

問　旧金崎団地の跡地活用に対する市の見解は。

答　この地域は、第一種低層住居専用地域に指定しており、独立した店舗や商業施設を建築することができないなど、静観な住宅地として良好な住環境が確保されています。この状況を踏まえ、今年度末までに地域の発展や住民の利便性向上につながる利活用の考え方をまとめることとしており、地域住民の意見を聞きながら用途変更の可能性も視野に入れて幅広く検討を進めています。

問　上下水道料金が三沢市と比較して高い理由は。

答　上下水道事業は、使用者からの料金収入で運営する独立採算制であり、運営に要する費用については、地理的条件や人口、施設規模によって料金が異なります。一般的な家庭の上下水道料金を税抜で比較すると、当市は7,479円、三沢市は5,895円であり、当市の方が高くなっています。この主な理由は、人口１万人当たりの管路の長さや処理場などの施設数が三沢市よりも多く、維持管理にかかる費用が膨らむためです。

問　中央病院の資金不足比率（※）の見込みは。

※公営企業の健全性を示す指標で、公営企業会計の資金不足（赤字）が、事業規模に対してどのくらいの割合になるかを示します。算出した資金不足額を医業収益で割り返したもの。

答　令和８年度の資金不足比率は現時点で20.6％となっており、引き続き患者数の増加に向けた取組等による医業収益の増加を図ります。それでも経営状況が改善されない場合には、給与水準の引下げを最後の手段として収支均衡に努めます。



You Tube
録画中継は
こちらから

斉　藤　重　美
（自民公明クラブ）

箱わな自動捕獲通知システム導入台数を増やす考えは

必要な台数を追加し効率的な捕獲体制を整える

問　箱わな自動捕獲通知システムは、毎日の見回り負担の軽減や早期の状況把握など、多くのメリットがあることから台数を増やす方向で検討してはどうか。

答　捕獲体制の強化として、箱わなやくくりわなの増設、狩猟免許の取得支援による狩猟者の確保、スマート捕獲機器の導入等を進めています。また、捕獲に当たる鳥獣被害対策実施隊員の負担軽減を図るため、これまで自動捕獲通知システムを10台導入しており、今後も必要な台数を追加し、より効率的な捕獲体制を整えます。

問　横断歩道や停止線などの道路標示は安全確保に不可欠だが、郊外の道路では経年劣化で消えかかっている箇所が多く、交通事故のリスクが懸念される。市内全域の道路標示を引き直すべきと考えるが、市の対応は。

答　横断歩道や停止線、止まれの文字の引き直しについては、いずれも青森県公安委員会の所管となるため、市に情報が寄せられた場合は、十和田警察署に速やかに情報提供を行い、早期の対応を要望しています。

問　農地の大区画化は、担い手への農地集積、集約化、作業の効率化につながるが、費用負担が発生し農業者が手を出しにくい。国が実施する支援事業に市でかさ上げ補助をする考えは。

答　国の「大区画化等加速化支援事業」は、令和７年度から５か年で実施され、農業者が自ら整備する農地の畦畔の除去や高さ調整等の取組を支援するもので、工事内容に応じて定額補助を行い、超過分は農業者の自己負担となります。市独自のかさ上げ補助については、新規事業でまだ実績がないため、今後の実施動向を見極めながら検討していきます。